

太良

議会だより
News from the Assembly



太良町

平成28年度一般会計予算

55億9,942万6千円

contents 6月定例会

- 審議結果 ……3~4P
- みんなでチェック!議案審議 ……4P
- 一般質問 4名が登壇 ……5~8P
- 所管事務調査・その他の活動 ……9P
- 議会の主な活動・街角クイズ ……10P

発行/太良町議会 編集/議会広報編集委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<http://www.town.tara.lg.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。

No.141

平成28(2016)年7月13日発行
初版発行/昭和56年8月1日

【キョウチクトウ】

6月定例会審議結果

6月定例会は、専決処分7件、事件議案1件、契約議案1件、補正予算2件及び報告1件の計12件が町長より、また、選挙1件、請願1件及び意見書1件が議会より提案され、審議結果は次のとおりです。
賛成=○ 反対=× 欠席=欠 退席=退 ※議長は採決に加わらない。

議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議席番号 議決結果	1	2	3	5	6	7	8	9	10	11	議長
			待永 るい 子	竹下 泰 信	田川 浩	江口 孝 二	所賀 廣	平古 場 公 子	川下 武 則	久保 繁 幸	末次 利 男	下平 力 人	
報告 第1号	平成27年度太良町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告 27年度から28年度へ繰越をした事業の繰越計算書(年金生活者等支援臨時福祉給付金事業等)の報告	報告	-	-	-	-	-	欠	-	-	-	-	-
第34号	専決処分事項の承認 固定資産評価審査委員会条例の一部改正 固定資産課税台帳に登録された価格に係る審査の申出に対する地方税法の適用について、経過措置を明確にするもの。	承認	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第35号	専決処分事項の承認 太良町税条例の一部改正 家屋の固定資産税の減額申請に係る変更とたばこ税の経過措置等を改正するもの。	承認	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第36号	専決処分事項の承認 太良町国民健康保険条例の一部改正 国民健康保険税の課税限度額等の改正をおこなうもの。	承認	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第37号	専決処分事項の承認 平成27年度太良町一般会計補正予算(第7号) 国民健康保険特別会計繰出金等5,644万円を減額補正し、補正後の予算総額54億7,155万4千円とするもの。	承認	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第38号	専決処分事項の承認 平成27年度太良町山林特別会計補正予算(第4号) 森林環境保全直接支援事業委託料等74万4千円を減額補正し、補正後の予算総額5,102万4千円とするもの。	承認	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第39号	専決処分事項の承認 平成27年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第4号) 一般被保険者療養給付費等225万8千円を減額補正し、補正後の予算総額19億8,027万6千円とするもの。	承認	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第40号	専決処分事項の承認 平成27年度太良町簡易水道特別会計補正予算(第4号) 水道施設改良事業等145万1千円を減額補正し、補正後の予算総額9,913万1千円とするもの。	承認	○	×	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第41号	杵藤地区広域市町村圏組合規約の一部変更 組合規約の変更を行うもの。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第42号	平成28年度太良町一般会計補正予算(第1号) ふるさと応援寄附金の基金積立等2億3,339万2千円を増額補正し、補正後の予算総額55億2,799万4千円とするもの。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第43号	平成28年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 電算システム改修委託料等40万1千円を増額補正し、補正後の予算総額18億9,540万1千円とするもの。	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-
第44号	太良町学校給食センター新築工事請負契約の締結 契約金額 582,984,000円 契約の相手方 増田建設株式会社	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-

平成28年度 第2回定例会

会期/6月6日～13日(8日間)

平成28年度 一般会計の補正予算総額 3,942万6千円
補正後予算総額 55億9,942万6千円

一般会計の主な補正

歳入

- ◆臨時福祉給付金等給付事務費補助金……………153万5千円
- ◆さが未来スイッチ交付金……………270万円
- ◆財政調整基金繰入金……………3,058万4千円
- ◆コミュニティ助成事業費補助金……………290万円
- ◆過疎対策債……………△100万円

歳出

- ◆コミュニティ助成事業費補助金(栄町区浮立用具購入事業)……………190万円
- ◆さが未来スイッチ交付金事業補助金……………640万円
- （ 棚田を活用したイベント等の開催による中山間地域の活性化事業……………135万円）
 - （ 海中鳥居を活かした地域活性化事業……………235万円）
 - （ 太良町地域再生推進補助金……………270万円）
- ◆臨時福祉給付金給付事業費……………153万5千円
- ◆定住促進住宅建設事業アドバイザー業務委託料……………162万円
- ◆消防施設整備費補助金(北町区、平野区の消防施設整備補助)……………393万7千円
- ◆地区公民館等整備事業費補助金(本町区の公民館整備補助)……………43万6千円

平成27年度 一般会計の補正予算後総額 54億7,155万4千円

一般会計の主な補正

歳入

- ◆特別交付税……………2,663万9千円
- ◆ふるさと応援寄附金……………3,247万7千円
- ◆財政調整基金繰入金……………△5,560万5千円
- ◆過疎対策債……………△3,260万円

歳出

- ◆ふるさと応援寄附金基金積立金……………3,247万7千円
- ◆国民健康保険特別会計繰出金……………△2,084万円
- ◆簡易水道特別会計繰出金……………△145万1千円
- ◆体育施設整備事業……………△628万円



議員 避難所の耐震構造はどうか。
総務課長 地震の避難所は昭和56年以降の耐震基準を満たしています。風水

災害対策について

答 年間計画を立て、内容の深い防災訓練を実施していく

災害に強い町づくりのための今後の対策は

一般質問

待永るい子議員

議員 害時の避難所は公共の建物を使用します。
議員 福祉避難所が不足しているが、大浦地区にも設置すべきではないか。
総務課長 様々な要件を満たす必要がありますが今後、大浦地区に設置する方向で検討したい。

議員 あらゆる面での防災訓練不足を感じるが。
議員 防災訓練については、消防団と一体になり、質・量共に含めた所で、今後も協議を重ねていきたい。

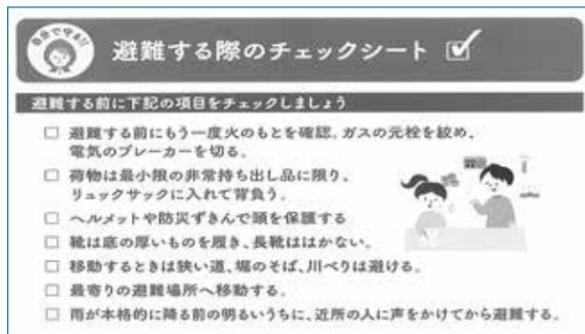
議員 風水害の時は家中にいて、防災行政無線は聞こえにくく、平等に全てのの方に伝達できる最上の方法は戸別受信機の上世帯への設置です。災害

議員 風水害の時は家中にいて、防災行政無線は聞こえにくく、平等に全てのの方に伝達できる最上の方法は戸別受信機の上世帯への設置です。災害

議員 現時点では個人で用意してもらう以外考えていない。
議員 県内の断層・近隣県の活断層についてどのような認識をしているか。
議員 大型の地震が発生する危険性は少ないというふうに考えます。
議員 情報弱者の対応は。情報弱者の対応は。総務課長 防災行政無線による情報提供で町内全域をカバーしていると考えています。

愛路口について

議員 愛路口の委託形態はどのようなものか。
建設課長 年度当初に各地区の区長さんと町とで委託契約を結び、平野部山間部関係なく一律の計算で委託金を払っている。



議員 国への施策で町民の皆様の利益になる事業から、徹底した周知情報提供を要望したい。行政目線ではなく、常に町民の皆様の目線で考え、行動し、実施されることに期待する。
町民福祉課長 5月27日現在で、326名の方が申請されていない。
議員 国の施策で町民の皆様の利益になる事業から、徹底した周知情報提供を要望したい。行政目線ではなく、常に町民の皆様の目線で考え、行動し、実施されることに期待する。

臨時福祉給付金について

議員 臨時福祉給付金の未申請者はどれくらいか。
建設課長 維持管理が困難な地域につきましては、要望書を提出して頂ければ、現地調査の後、町で実施していきたいと考えています。

議案番号	件名と主な内容(件名及び内容は一部省略しています)	議席 議決 結果	議席番号											議長
			1	2	3	5	6	7	8	9	10	11		
選挙第1号	選挙管理委員及び補充員の選挙 選挙管理委員 任期4年間 山田佳子さん、井手カツ子さん、中島末博さん、小川のち子さん 補充員 任期4年間 大江辰則さん、毎原哲也さん、馬場順子、中島康子さん	当選	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
請願第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係わる意見書の採択に関する請願書 子どもの学ぶ意欲・主体性なとりくみを引き出す教育の役割は重要であり、そのための条件整備を図るために関係機関へ意見書の提出をお願いする請願	採択	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-
意見書第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2017年度政府予算に係わる意見書 請願第1号の採択を踏まえ、その趣旨に沿い国に意見書を提出するもの。 内容 1.子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。 2.教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の国庫負担割合を2分の1に復元すること。 提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	-

みんなでチェック！議案審議

平成28年6月議会 議案審議Q&A

平成28年度一般会計補正予算などを含め議案11件、報告1件、選挙1件、請願1件、意見書1件を審議した。太良町学校給食センター建設に関しては、9社入札の結果5億8千298万4千円で増田建設(株)が落札。来年2学期から運用開始予定。

問 国保と後期高齢者の医療費、介護保険の負担額の状況は。

答 H26年度の一人当たり医療費は、国保が約36万円で県内19位。後期が約105万円で12位。介護保険はH27年度で約1億8千万円の負担。

問 町営プール、B&G体育館の老朽化メンテナンスについて。

答 プールは町の施設として、体育館はB&G財団と協力し、対応していきたい。

問 消防団の団員数の確保、入団しやすい職場対策について。

答 現在は500名体制を維持できている。県も団員確保の事業を行っているので協力しながらやっていきたい。

問 定住促進住宅事業の進展状況は。

答 畑田の果協跡地はPFI方式で集合住宅を。亀ノ浦地区町有地は町単独で戸建ての建設を考えている。戸数や家賃などはアドバイザーの意見などを聞きながら、これから検討したい。

※PFI方式とは、民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法のこと。

問 地方創生加速化交付金で一事業が不採択になった。地域連携で一事業採択になったが、通常事業分はゼロ。自治体間の格差が心配されるが、これからの対応は。

答 職員だけではなく協議会などを立ち上げ、グループ討議などをしながら事業を検討する方法もあると考えている。



議員 急速な少子化の中、早い時期に学校統合を考えていく必要があると思うが。

教育長 文部科学省の手引書を参考にしながら、慎重に協議を重ねていく。

議員 学校というのは、学習の場だけではない。生徒数が多いと集団の中で付き合い方等自分なりに判断していくだろうし、スポーツ面にしても種目が限定されてやりたい部活すらできない。一つの教室に数多くいることで競争力、行動力が大いに期待できる。この集団生活の大切さをどう思うのか。

教育長 部活動を見てみると生徒数は少ないものの、ソフトテニス等は九州で強豪の位置にあるし、学校から抜けだして独自の考えで活動している生徒など地域の方々と信頼関係をもちながら学校生活

議員 年齢別の人口調べでは、多良校区では6年後小学校全てが1クラスに、大浦校区では既に全てが1クラス。本当に狭い規模の学校になってしまう。統合しなければならぬという決まりはないと思うが教育長の考えは。

教育長 生徒指導上の問

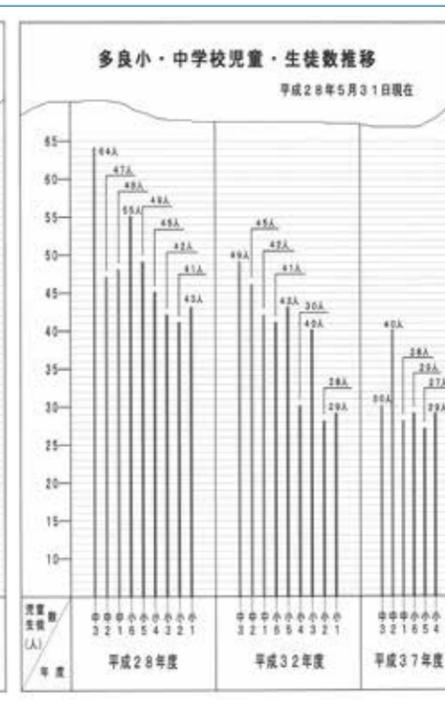
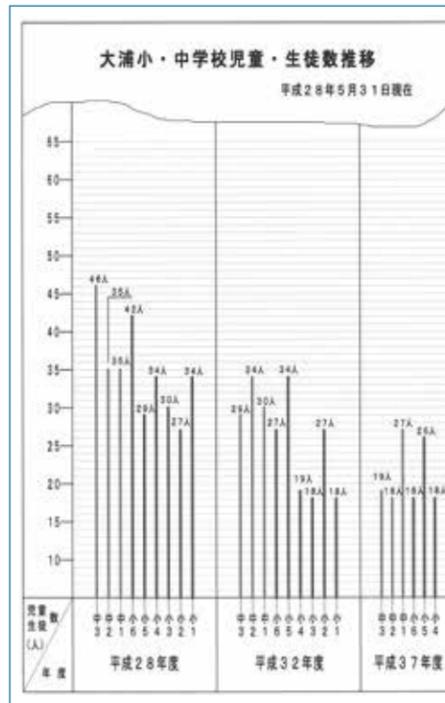
一般質問

多良小・中、大浦小・中学校統合について今後の考えは

答 目標年度を設置し、地域全体の声や実態を踏まえた上で検討していく

議員 学校というのは、学習の場だけではない。生徒数が多いと集団の中で付き合い方等自分なりに判断していくだろうし、スポーツ面にしても種目が限定されてやりたい部活すらできない。一つの教室に数多くいることで競争力、行動力が大いに期待できる。この集団生活の大切さをどう思うのか。

議員 年齢別の人口調べでは、多良校区では6年後小学校全てが1クラスに、大浦校区では既に全てが1クラス。本当に狭い規模の学校になってしまう。統合しなければならぬという決まりはないと思うが教育長の考えは。



議員 町長にお尋ねします。クラスの数を複数に維持することによって、部活動等活発にできると思うし、色々な問題が数多くあると思う。プラス思考に置きかえて前向きに検討していく必要があると思うが。

町長 まず目標年度を設置して、色々な議論を重ねて人口の動向を見つめつつ地域全体の声を聞きながらその実態を踏まえた上で十分な検討をしていきたい。

議員 町内の地域交通はここ何十年も基本的なものは変わらずに維持されてきた。だが、人口減少・高齢化などの変化、将来的に不透明な鉄道問題など地域交通の再構築が必要な

議員 町内の地域交通はここ何十年も基本的なものは変わらずに維持されてきた。だが、人口減少・高齢化などの変化、将来的に不透明な鉄道問題など地域交通の再構築が必要な

議員 町内の地域交通はここ何十年も基本的なものは変わらずに維持されてきた。だが、人口減少・高齢化などの変化、将来的に不透明な鉄道問題など地域交通の再構築が必要な

大浦小・中学校児童・生徒数推移

多良小・中学校児童・生徒数推移



議員 路線バスへの町からの補助金額は。

企画商工課長 国道路線に484万円。支線3路線に約548万円。

議員 JR長崎線の多良駅と肥前大浦駅の利用状況は。

議員 JR長崎線の多良駅と肥前大浦駅の利用状況は。

議員 JR長崎線の多良駅と肥前大浦駅の利用状況は。

議員 町内のタクシー会社の利用・営業状況は。

議員 町内のタクシー会社の利用・営業状況は。

議員 町内のタクシー会社の利用・営業状況は。

議員 町内の地域交通はここ何十年も基本的なものは変わらずに維持されてきた。だが、人口減少・高齢化などの変化、将来的に不透明な鉄道問題など地域交通の再構築が必要な

議員 町内の地域交通はここ何十年も基本的なものは変わらずに維持されてきた。だが、人口減少・高齢化などの変化、将来的に不透明な鉄道問題など地域交通の再構築が必要な

議員 町内の地域交通はここ何十年も基本的なものは変わらずに維持されてきた。だが、人口減少・高齢化などの変化、将来的に不透明な鉄道問題など地域交通の再構築が必要な

一般質問

地域交通の再構築は

答 地域の実態に合った交通政策に取り組みたい

議員 バスの利用状況は。

議員 バスの利用状況は。

議員 バスの利用状況は。



多良駅に停車する特急列車

議員 しおさい館へ送迎として福祉バスが運行されているが、送迎以外の利用はできないのか。

議員 しおさい館へ送迎として福祉バスが運行されているが、送迎以外の利用はできないのか。

議員 しおさい館へ送迎として福祉バスが運行されているが、送迎以外の利用はできないのか。

議員 今年一月に本町で県内市町の担当者と県を交えて、地域交通に関する会議が行われているが、その時の本町に対する意見は。

議員 今年一月に本町で県内市町の担当者と県を交えて、地域交通に関する会議が行われているが、その時の本町に対する意見は。

議員 今年一月に本町で県内市町の担当者と県を交えて、地域交通に関する会議が行われているが、その時の本町に対する意見は。

多良駅に停車する特急列車

伊万里市民図書館視察 2025年に向けた地域医療の将来 総務常任委員会所管事務調査

5月11日に実施。伊万里市民図書館は行政と市民の協働で、本を借りるというだけでなく、市民の皆さんのコミュニティの場として滞在型図書館を目的に建設されました。

本棚の高さ、お話会の部屋、喫茶、趣味、色々な所で工夫されています。運営に関しても市民の方が全てにおいてサポートされ、規模は違って私達の目指す要素が溢れていました。午後は伊万里市議会のメンバーと2025年に向けた地域医療の将来について学習。超高齢化社会のニーズにあった地域医療の確立に取り組んでいきたいと思いました。



全国町村議会議長 ・副議長研修会に参加



5月30日から31日の2日間、東京の中野サンプラザにて全国町村議会議長・副議長研修会に参加しました。「地方議会の役割と改革の行方」と題して講演があり、町村議会の突破力と課題のなかで、住民参加論、議会基本条約の意義の到達点は福祉の充実であり、住民自治の根幹は議会にあると締められました。

PFI事業による住宅整備と ふるさと納税の状況について視察 経済建設常任委員会所管事務調査



去る5月24日みやき町で、PFI（民官資金等の活用による公共施設等の整備の促進）事業による住宅整備の状況を視察しました。国交省の交付金が45%、地元金融機関が55%を出資、107戸の集合住宅を建設し全て満室。

上峰町では、ふるさと納税の状況について視察をしました。27年9月に本格的に導入し、21億34万円の納税があった。9割以上が牛肉で、東京、大阪等大都市からの寄附件数が多かった。

リピーター対策、返礼品目の開発等が課題ということでした。

熊本県芦北町より視察 議会改革について



6月30日、議会改革特別委員会の議員など10名が訪問され、議長と議会活性化委員5名で対応しました。芦北町議会は、現在議会基本条例の制定に向けて調査研究中。本町議会が平成25年に制定した基本条例や倫理条例の制定までの過程や、議会報告会、議員報酬などについての質問がありました。

本町議会でも本年度より議会改革特別委員会を設け、検証とさらなる検討を重ねているところですので再確認のいい機会となりました。

一般質問

竹下 泰信 議員

子ども・子育て支援事業計画の進捗状況と基本的取組みはどうか

答▼ 主要事業目標はほぼ達成し、各機関との連携も推進している

議員 平成22年に策定された、太良町次世代育成支援行動計画（後期計画）の実績と課題はどうであったか。

町長 国の策定指針の主要事業の目標はほぼ達成したが、依然として少子化の

議員 後期計画の実績と課題は今回策定された支援事業計画にどのように反映されているのか。

町長 今回の支援事業計画は、次世代育成支援行動計画の後継的な計画であり、当然反映している。

議員 この計画では、進捗状況を子ども・子育て会議へ報告し、点検、評価を実施し、地域や関係機関との連携を図ることになっているが、状況はどうか。

町長 点検評価は、策定し

て一年が経過したので、これから報告する。子ども・子育て会議の委員は多岐にわたる方々にお願しているため、各方面との連携推進は図られている。

議員 この支援事業計画では、総合的な施策目標が3点示されている。この達成状況や展開、28年度予算への反映はどうか。

町長 策定から一年が経過したばかりで、これから本格的に展開し、予算にも反映させていく。

議員 平成22年に策定された支援行動計画の施策目標と今回策定された支援事業計画の目標は全く同じである。また、推進施策が13点あるが、若者定住環境を支援しますが、後には全く同じである理由を伺う。

町民福祉課長 両計画の目標像、施策目標、推進施策

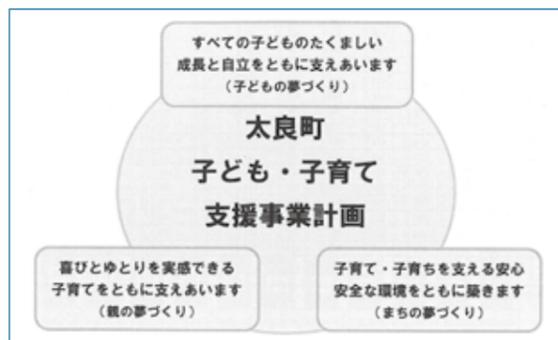
はほぼ同じ内容となっているが、継続、後継的な計画になっているためである。また、委員が審議した結果である。

議員 この施策の中に、障がいや発達の遅れがみられる子どもに対して、支援事業を充実することになっているが、具体的事業の内容は。

町民福祉課長 早期発見が一番必要で、健診等の時に臨床心理士を招き心理相談を実施。また、言語聴覚士や児童指導員による各保育園の巡回を行っている。

学校教育課長 教育委員会では、就学する子ども等を対象として、特別支援学級のか通級指導的か審査を行っている。

町民福祉課長 母子家庭、



議員 子育て事業は、次世代を育てる重要な施策である。一方、町の出生率は過去2番目に少なくなっている。定住促進事業など将来を見据えた若者対策が急務である。

議会の主な活動

4月～6月

- 6月
 - 30 議会広報編集委員会
 - 30 第4回議会活性化特別委員会
 - 30 熊本県芦北町議会行政視察来庁
 - 24 議会広報編集委員会
 - 16 学校教育現場視察(大浦小)
 - 15 議会広報編集委員会
 - 13 第3回議会活性化特別委員会
 - 13 6月定例会議案審議
 - 8 議会運営委員会
 - 8 6月定例会一般質問
 - 6 第2回議会活性化特別委員会
 - 6 全員協議会
 - 6 6月定例会招集
 - 5 太良町消防団操法県大会結団式
 - 1 議会運営委員会
- 5月
 - 29～31 平成28年度町村議会議長・副議長研修会
 - 24 経済建設常任委員会行政視察
 - 20 平成28年度太良町防衛協会総会
 - 18 全員協議会
 - 11 総務常任委員会行政視察
 - 27 杵藤地区町村議会議長会定期総会期総会
 - 25 佐賀県町村議会議長会議
 - 21 佐賀県西部広域環境組合議会選出議員協議会
 - 21 太良町戦没者慰霊祭
 - 20 第1回議会活性化特別委員会
 - 20 全員協議会(例会)
 - 11 小・中学校入学式
 - 8 太良高校入学式
 - 4 議会広報編集委員会
 - 3 太良町消防団入退団式
- 4月
 - 20 全員協議会(例会)
 - 20 第1回議会活性化特別委員会
 - 21 太良町戦没者慰霊祭
 - 21 佐賀県西部広域環境組合議会選出議員協議会
 - 25 佐賀県町村議会議長会議
 - 27 杵藤地区町村議会議長会定期総会期総会



平成28年(4月～6月分)
議長交際費の支出状況

種別	件数	支出額(円)
祝儀	3	15,000
会費	3	11,000
慶弔	—	—
贈呈	—	—
謝礼	—	—
その他	—	—
合計	6	26,000

街角クイズ!!

お買物券が当たる!

Q) この建物は太良町総合福祉保健センターですが、愛称は何でしょうか?

A) ○○○○館

解った方は、ハガキに答えを明記し、住所・氏名・電話番号をご記入の上、下記に応募下さい。
〒849-1698 太良町大字多良1-6太良町議会議務局「街角クイズ係」宛

※締め切り／7月末日 消印有効
※当選発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。
前回は多数のご応募ありがとうございました。

編集委員会

委員長 川下 武則
副委員長 田川 浩
委員 江口 孝二
竹下 泰信
待永 いる子



編集室より

4月14日安全で安心だと思われていた九州で大地震が発生。多大な被害をもたらし今も余震が続いている。私達はいつ襲ってくるか解らない災害に対し、万全の体制をとることが求められる。4月25日に、熊本の皆さまに役立って欲しいとの思いをのせて支援物資の発送に立ち会いました。